

比較家族史学会

会比较家族史 24

事務局 〒101 東京都千代田区神田駿河台1-7 弘文堂気付
郵便振替 [会費] 00130-4-25222, [雑誌・その他] 00180-3-604964

比较家族史学会 第二七回研究大会

日時 一九九五年六月十日(土)・十一日(日)
場所 神奈川大学(地図参照) Ⅱ最終の頁
テーマ 家族のオートノミー―家族・社会・国家―

報告

六月十日(土)

◆会長挨拶 江守 五夫

□家族のレギュラシオン

丸山 茂(神奈川大学) 10:30

□「ハウス」イデオムの展開―オーストリア農村

調査から

森 明子(国立民族学博物館) 11:20

特別報告

◆日本社会における隠居慣行と家

網野 善彦(神奈川大学) 13:00

□一九世紀ドイツ人の移民と家族の諸相

的場 明弘(神奈川大学) 14:00

□ミクロストーリーと家族戦略―イタリア移民史の

研究の視点から

北村 暁夫(三重大学) 14:40

(休憩二十分)

□家族と社会及び国家―周辺社会から考える

清水 昭俊(国立民族学博物館) 15:40

□家と村の歴史的諸相―有賀喜左衛門の「家」論を
手がかりに

沼田 誠(駿河台大学) 16:20

◆懇親会(午後七時から)

横浜東急ホテル

六月十一日(日)

□家族戦略と家族政策―母親の就業状態と保育方法
をめぐる

小島 宏(人口問題研究所) 10:00

□象徴的支配と農民―「結婚難」の社会的背景

須田 文明(農業総合研究所) 10:40

□家族料理のイデオロギ―

佐藤 健二(東京大学) 11:30

◆総会

13:20

◆シンポジウム

家族のオートノミー(14:00-17:00)

運営委員

川田 昇(委員長)・有地 亨

丸山 茂・橋川 俊忠・小馬 徹



学会へのプレゼンテーション

(趣旨説明)

丸山 茂

フランスの家族法社会学あるいは法政策学の最近の動向にことよせながら、今回の学会において、試みようとしたテーマを示しておきたい。

60年代後半以降、統計学的に示された、離婚の増大や事実婚の一般化、家族や社会のなかの子どもの地位の変化、女性の社会進出、高齢化などは、家族慣行のおおきな変化を促している。この家族の変容をうけて、70年代は家族法の改正の時代をむかえた。法規範の改訂を行う作業が当面し展開することになったものは、法学における論理を改変し、現代的状況に適合させていくことだけにとどまらなかつた。課題は、家族法そのものについての、規範としての構成のありかたや性格付け、有効性、ひろく家族にたいする社会統制という考え方について、反省を求めらるものであった。

その過程において、明らかにされた考え方は、伝統的なコントロール・ソシアル(社会統制)という考えかたから、レギュラシオン・ソシアルと名付けられる現代的なコントロール・ソシアルへの転換であった。

それは、なによりもまず権力という概念の

転換を迫るものであり、家族を方向付け、規制できるとするコントロール思想から、自生的で多元的な家族慣行の認知を前提とした、新しい社会的編成を要求するものとなった。

合理的で、一体的であるような権力概念への反省にもとづいて、家族慣行に対して、強制的契機となるような規範という考え方は後退していく。社会の中にある心性と慣行(プラチック)の複合性Ⅱブルラリスムを配慮した、立法が試みられ、法は、モデル機能、規制の機能を失い、家族を規格化することをやめ、「子どもの利益」の概念にみられるように、(枠組み化)、(可変性)していき、法の多元性の容認に向かつていく。したがって、立法作業は、社会の中に複合的に存在する家族実践の探求が重要な柱となり、法の効果もその探求によって測られていくことになる。

結局、秩序形成は、あるモデルを浸透させようとする単一権力によるものから、市民の行動・態度、それらを表現していく運動、関係する専門家、制度組織、(科学的)知、権力の諸審級とのあいだの複雑なゲームと交渉によっておこなわれる(コマイユ)。このことをコントロール・ソシアルからレギュラシオン・ソシアルへの転換とよんでいるのである。このような時代の流れは、科学の予言的性格、単一原因主義、規範的主意主義あるいは当為の言説への批判を内在させるとともに、フランスでは、単なる統計学的認知を越えた、家

族実践を解説するための新しい方法の進展(マントリテ、ストラテジー)を背景としてきた。日本においても、家族のあり方については、これまでも多くの研究がなされてきたのであるが、現代の多元的な家族実践の登場を前にして、それらを読みとる手段として、どのようなアプローチが試みられているのかを確認するとともに、それらの手段の可能性や有効性について、あらたなる比較検討が求められている。さらに、いったん家族慣行の自生性Ⅱオートノミーという側面に重点を置いて、家族の変容をさぐるとともに、そのような視点から、あらためて、私的なものと社会、国家との関係の見直しも、欠かせない課題のひとつとなっているといえよう。

今回の学会では、このようなことを考えていく試みの端緒として位置づけ、多様な家族実践や、それらと社会、国家の関係についての研究を、方法的検証をもまじえながら、さまざまな分野から報告をしていただくことにした。

【参考文献】

「家族のレギュラシオンと社会の発見」『社会の発見』神奈川大学評論叢書第四卷(御茶ノ水書房)

運営委員会からのお知らせ

1 懇親会について

- ・ 場所 横浜東急ホテル
- ・ 費用 八、〇〇〇円
- ・ 時間 午後七時から
- ・ 会場については、大会会場で案内します。
- ・ 懇親会参加者は同封のはがきでご連絡ください。

2 参加費

参加費は一、〇〇〇円です。会場受付でお願いします。

3 昼食

十日(土)昼食は、大学生協が開いていますので、生協をご利用ください。十一日(日)は、大学生協が閉まっており、また近くに食事の場所も少ないので、弁当の注文を受け付けたいと思います。ご希望の方はおハガキでお申し付けください。

4 宿泊

横浜東急ホテル(TEL 045-311-1682)に割引価格で宿泊できます。比較家族史学会の会員で神奈川大学で学会があることを伝えらると、割引価格(シングル ¥13,000、ただし土曜日は若干高くなります)になります。

5 連絡先

〒二二一
神奈川県神奈川区六角橋三二七―一
法学部研究所 川田 昇・丸山 茂
電話 〇四五―四八一―五六六一

事務局からのお知らせ

1 会費納入のお知らせ

一九九五年度の会費の納入をお願いします。会費の納入状況につきましては、封筒の宛名ラベルの右下に数字で記入してあります。「94」は一九九四年度まで会費を納入しているという意味です。

会費の振替用紙を同封してあります。会費の振替口座番号は次の通りです。
00130-4-25222

この番号は会費専用の番号です。

比較家族史学会ではもう一つ別の郵便振替の番号を持っています(00180-3-604964)。この番号は雑誌など、会費以外の目的に利用しています。お間違えのないようお願いいたします。

また、今回から新しい振替用紙を用いることになりました。古い用紙も今年度いっぱい使えるはずですが、新しい用紙を使うようにしてください。

2 関西大震災被災者へのカンパ(お礼)

去る三月に関西大震災への見舞金用のカンパをお願いしました。現在、三〇万円程度となっています。どうもありがとうございます。関西事務局と相談の上、五月末に被災者の方にお渡ししたいと思います。

ただ、このカンパ用の振替用紙で会費の納入をされた方がおります。会費納入と明示された方は会費会計の方へ回しますが、会費の明示のない方はとりあえずカンパの方へ回しておきます。会費納入のつもりで入金された方は、恐縮ですが、森宛まで至急(五月二〇日まで)にご連絡ください。連絡先はこの項の最後に書いてあります。

3 比較家族史研究について(原稿募集)

今年度十月に「比較家族史研究」の臨時号を出すことになっています。この原稿の募集については、三月に連絡いたしました。

今年度は定期的のものをもう一冊刊行しますので、原稿を募集したいと思います。ご希望の方は編集事務局(奥山氏宛)に連絡をしてください。

臨時号の詳細につきましては、編集事務局にご連絡いただければと思います。連絡先は、この項の最後に書いてあります。

4 比較家族史研究について(在庫)

比較家族史研究の事務局の在庫の状況は次

の通りです。

第一号、第二号 若干部

第三号、第五号 三〇冊程度

第四号、第六号以下 まだ余裕があります。

一号と二号は表紙などの汚れが目立つものしか残っておりません。

定価は一八〇〇円から二三〇〇円で、会員には定価の二割引き（送料別途）でお送りしています。

申し込みは、事務局（森苑）までハガキかFAXでお願いします。

なお、シリーズ家族史は、書店を通じても販売しております。発売元は弘文堂ですが、弘文堂への直接の申し込みはご遠慮ください。

5 「シリーズ 家族史」について

詳しくは、次号の会報でお知らせします。既刊の「シリーズ家族史」の申し込みは早稲田大学出版部までお願いします。

〒一六九 東京都新宿区戸塚町一―一〇三
早稲田大学出版部

比較家族史学会会員であることを明記して、おハガキでお申し込みください。定価の二割引き（送料別途）です。

【連絡先】 一般のこと

森 謙二

【編集事務】

〔被災状況追加〕 牟田和恵会員も引越直後に関西大震災にあい、多少の被害はありましたが、四月から海外研修に出かけられました。

議 事 録

▼▽幹事会議事録▲▲

日時 一九九四年十月二八日
場所 京都橘女子大学

1 今後の研究大会について

☆第二七回研究大会

テーマ 家族のオートミナー

場所 神奈川大学

日時 九五年六月十日(土)～十一日(日)

運営委員 有地亨・丸山茂などに依頼

☆第二八回研究大会

テーマ 女性史・女性学の現状と課題②

場所 福岡市女性センター

福岡市との共催

・二六回大会のシンポのテープを起こし、パ
ンフ作成予定

☆第二九回研究大会

場所 明治学院大学

老川委員に依頼

2 文部省科学研究費補助金公開費の交付

「女性史・女性学の現状と課題」の研究大会開催の目的で文部省の科研費が交付された。

3 「事典 家族」について

追加項目の人選
原稿締切厳守のこと

4 新入会員の承認

5 年報「比較家族史研究」について

掲載予定の原稿の積み残しの増加
来年、臨時増刊号の発行

6 学術出版物の届出について

郵政大臣宛に学術刊行物の申請中
許可された場合、会費未納者の雑誌発送方法を再検討する

7 シリーズ家族史について

第二期 「家と屋敷地」原稿提出完了

「女子教育」原稿執筆中

「家族と地域社会」原稿締切中

8 規約改正について

規約改正原稿の検討
九五年六月の幹事会と総会で決定

▼▽第二六回総会△▲

住所・所属変更

日時 九四年十月三十日
場所 京都橘女子大学

岩上 真珠

吾郷 成子

所属 広島市立大学

1 新入会員報告

牟田 和恵

李 環媛

堀江 俊一

2 学術会議報告

濱 久年

所属 中京女子大学人文学部

清水 浩昭 (所属変更) 日本大学文理学部

三成 美保 (所属変更) 摂南大学法学部

堀内 正樹

- ・ 九月末十六期の活動計画
- ・ 高齢化社会の多面的検討委員会など
- ・ 女性科学者の地位向上の継続的検討
- ・ 情報公開について
- ・ 民事判決原本や刑事判決保存の問題
- ・ 学術情報のネットワークなど

所属 野島出版

3 『シリーズ家族史』刊行進捗状況

京楽真帆子

(報告) 幹事会議事録参照

森本 敦司

所属 広島市立大学国際学部

鷲貝 等曜

4 『事典 家族』刊行進捗状況

村上 一博

- ・ 追加項目選定
- ・ 十月末原稿締切・締切厳守のこと
- ・ 九五年度中に刊行予定

5 今後の研究大会について

八木 透

(幹事会議事録参照)

6 規約改正について

崔 吉城

(幹事会議事録参照)

■学会周辺

日本史研究会から「司法資料保存及び利用に関する決議」が送られてきました。最高裁判所宛に送付された写しですが、この決議は民事判決原本の保存・公開に向けた体制をとることを求めています。比較家族史学会でも検討をする必要がありそうです。

■ 会 員 通 信

・ 神奈川大学評論叢書第四巻「社会の発見」御茶ノ水書房、二七七二円 一九九四年六月刊。
 今回のテーマ報告と関連して丸山茂会員が執筆しています(参考文献を参照)。また有地亭会員も「フランスにおける家族史の発見」を執筆しています。

・ 副藤 早苗『平安朝の女と男―貴族と庶民の性と愛』中公親書、七二〇円、一九九五年四月刊

◇この欄では会員の著作(単行本)を紹介しています。比較家族史研究の書評・文献紹介の資料にもなりますので、事務局までお知らせいただくと存じます。

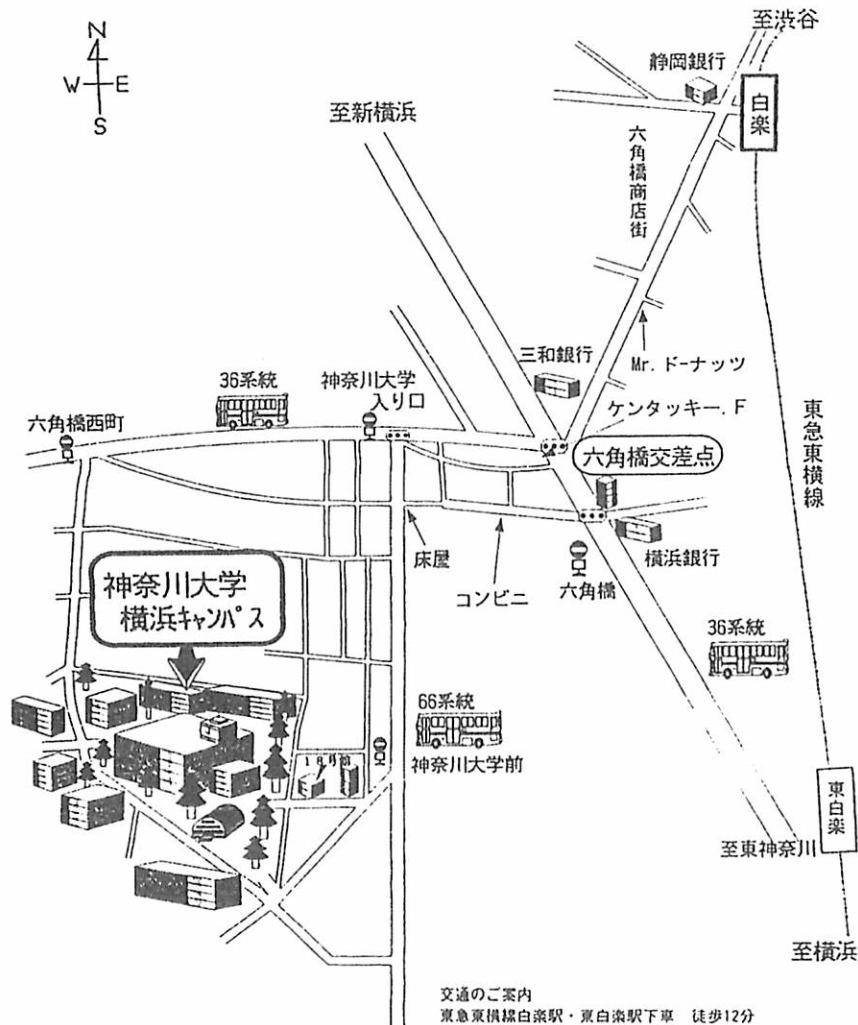
◇ 訂正とお詫び

三月にお送りしました通知のなかで、第二八回研究大会の日程を一〇月二八日(土)・二十九日(日)とお知らせしましたが、

一九九五年十月二十一(土)・二十二(日)

の誤りです。訂正とお詫びを申し上げます。なお、この大会は福岡市との共催であり、内容としては「女性史・女性学の現状と課題②」となりますが、正式のテーマは後日連絡をします。

神奈川大学への
 徒歩案内図 (白楽駅より約15分)



交通のご案内
 東急東横線白楽駅・東白楽駅下車 徒歩12分
 バス(横浜駅西口バスターミナルから乗車)
 1 普通バス系統 中山駅・緑園前行 神奈川大学入口下車
 八反橋・神大寺入口行 六角橋西町下車
 2 普通バス系統 六角橋・栗田谷通り一神奈川大学前下車